

# ABPMのすすめ

～ホルター自動連続血圧計(FB-270)について～

## 1、 高血圧患者は約 4000 万人！

日本には約4000万人と推定されている高血圧患者がおられますが、実際に治療を受けているのはその2割の約800万人とされています。高血圧患者数は増え続けており、H18年では調査では、**高血圧・至適血圧**：**正常血圧**の割合は男性（20歳以上）で**53.2%**：**31.1%**、女性（20歳以上）で**39.6%**：**46.5%**であり、男性で2人に1人、女性で5人に2人が「高血圧」でした。

またH17年と比較すると高血圧の割合は男性で10.9%、女性で5.5%も増加しています



## 2、 ABPMのすすめ

ABPMとは *Ambulatory Blood Pressure Monitoring* の略で「自由行動下血圧測定」という意味になります。ABPMは定期的に24時間の血圧計測を行い、1日の血圧の動態を把握することを目的としており、H20年度から保険適用になっています。

心臓が拍動する数だけ血圧値もありますので、1日に約10万個の血圧値が存在することになり、診察室で1回だけの血圧測定だけでは血圧コントロールに限界があります。特に※1 **白衣高血圧**や※2 **血圧の日内変動が大きい方**が適応になり、ABPMを行うことで診察室や家庭血圧が正常でもストレス状況下や夜間で高血圧になる※3 **仮面高血圧**も見つけることができます。



例えば、こんなケースがあります。

A. 外来血圧が高い血圧値

B. 自宅や職場では正常血圧値 → 正常血圧症例と同じで良好。(※1 白衣高血圧)



C. ※2 変動が大きい血圧値 → 動脈硬化が進行している場合必ずしも無害とは言えません。

D. 外来血圧が正常血圧値 → これらは※3 仮面高血圧と呼ばれ、将来の脳心血管イベントのリスクが非常に高いと言われています。

E. 夜間や早朝に高い血圧 → 就寝中に血圧の下がらないパターンがあります。

### 3、ABPMのメリット

下記は、外来随時血圧（診察室血圧）と ABPM を比較した表です。

	外来血圧	ABPM
測定頻度	少ない	多い
日内変動の評価	できない	できる
夜間血圧の評価	できない	できる
再現性	不良	比較的良好
白衣現象	ある	ない
薬効評価	不適	適している
薬効持続時間評価	できない	できる

当院でもこのように血圧でお悩みの患者さんに、ホルター自動連続血圧計（24 時間）にてデータ測定し、診療・治療を行っております。ぜひ主治医にご相談下さい。